

緩和ケア認定看護師

分野の役割

緩和ケアとは疾患に伴って起こる様々なつらさ(体のつらさ、心のつらさ、生活のつらさなど)を和らげるためのケアであり、終末期だけでなくがんと診断された時から、がんと共に歩んでいる間も、患者さんやご家族一人一人の意志を大切にしています。そして、緩和ケアの目標は患者さんやご家族のQOLの向上です。

実際の活動内容

- ・患者さんやご家族の苦痛をトータルペイン(身体的苦痛・心理社会的苦痛・スピリチュアルペイン)の視点でアセスメントし、薬剤投与や薬剤以外のケアの実践。
- ・院内外の緩和ケアの質の向上のため研修の企画・運営
- ・病棟スタッフががん患者の緩和ケアで困っていることへの指導や相談(スタッフのサポート)
- ・がんの告知や治療選択の場面の病状説明に立ち会い、情報提供や精神的サポートへの介入
- ・各病棟で記載している苦痛スクリーニングで看護師面談希望者への面談を通して様々な問題へのアプローチ

私が感じている認定看護師としての醍醐味



がんによって引き起こされる痛みや呼吸困難、吐き気など様々な苦痛が緩和ケアの専門的知識や技術を用いて症状コントロールを行っています。そのことで患者さんが家族と穏やかに過ごせるようになるなど日常生活が少しずつ変化する姿を見て医療や看護の力を感じ、嬉しく思います。

また、人生の様々な転機・・・病院では良い事ではなく、がん告知や治療の中止や人生最期のお別れの場面など患者さんや家族の人生の大きな出来事に関わります。その時に一緒に立ち止まり、一緒に考えたり悩んだりする中で再び歩きはじめる一歩をお手伝いができるように関わっています。立ち止まっている時間は人それぞれですので、患者さんやご家族のペースに合わせることで見えてくるものがあると思っています。その人に寄り添った看護が出来たと思えるような関わりが出来た時は認定看護師としてのやりがいを感じます。